

2023年2月22日

「DFOver80 教育分科会」鎌倉市岩岡教育長訪問記録（確定）

日時：2023年22日 10時30分から12時

場所：鎌倉市教育委員会教育長室（鎌倉水道営業所2階：鎌倉市御成町12-18）

先方：鎌倉市教育委員会 教育長 岩岡 寛人(文部科学省からの出向)

DF側：（敬称略、五十音順）赤堀智行、河原春郎、平尾光司、保坂洋、本田安弘、真瀬宏司、南井克之、宮崎泰雄（記録）、

目的：①岩岡教育長から鎌倉市が取り組んでいる教育改革に関するお話を伺う。
②「教育分科会」で計画している出版について意見を伺う
③理科実験活動の概要を説明し意見を伺う

*****要旨*****

1. DF 理科実験の活動の概要説明—赤堀（配付資料沿って説明）

赤堀さんからの説明後、岩岡教育長と以下の質疑

・器材は、DFで持ち込んでいるのか？

☞ DFが持ち込み、先生の負担軽減になる。

・学校からの謝礼は？

☞ 学校により千差万別で、謝礼、材料費、運送費用など負担していただいている例がある。平均すると、2-3万円である。

教育長は、理科実験に興味を示し、今後の連携が期待される。

2. DF・OVER80 教育分科会の活動とその出版計画について—保坂

保坂さんより、特に小学生を幸せにする教育に的を絞った出版を計画している。その要旨を説明後、岩岡教育長から、教育は学生のwellbeingが大事と考えていて、上梓の目的と一致する。DFの活動・出版に期待しています。

・平尾さんより、教育長としての実績は？

☞（岩岡）2つある

①「鎌倉スクールコラボファンド」を立ち上げ、教育活動支援の資金集めの仕組みを作った。現在までに、1200万円の支援を頂いた。このコラボファンドは、ふるさと納税制度活用をしたもの。

②

社会の大きな変化に教育がスムーズに対応できていない現実がある。社会と一緒にあたらしいカリキュラムを作るには資金が必要であり、広く資金集めをおこなった。

課題としては、特に企業から「なぜ鎌倉への投資か？」と問われることもあり、解決策として、将来は全国規模でのfund-raising展開が必要と思う。文科省に戻ったら実行したいと考えている。

③ 鎌倉ウルトラプログラムの導入

生徒一人一人に合った学び方を見つけられ、出来るような教育環境を作る必要がある。一人一人には、得意な学び方があるはずであり、それを見つけられるような教育システムが必要。

3. 岩岡教育長の発言と意見交換

i. (岩岡) 海外経験とあるがどのような国に行っているのか？

☞ (南井) 米国、教科担任制の下、個を大事にする、自分で考え、発言させるなど、知識の詰め込みではなく、小学生の段階では、“学びの礎”を身に付けることが大事・・・との指導方針の下での教育が行なわれていた。先生を海外に派遣することで、海外に於ける教育の実態に接する研修制度が必要。

II. (岩岡) 日本でも、小学校教育の改善はすすんでおり、体験的学習を強化している。問題は、中学校が変わっていないことである、特に公立中学。理由は、高校入試がかかわっていると思う。親も、高校入試に向けた覚えることへの要望が強い。

III. (岩岡) ・米国では、中高・大学に行くほど、クリエイティブになっていくが、日本は、逆であり、小学生性がもっともクリエイティブである。

・従来の「前例（前に起こったこと）を学ぶ」のではなく、「自ら考え行動する」教育が必要である。

・日本の教育を変えなくてはいけないと言われているが、どのように変えていくか具体的な解決策がいま、求められている。学校に丸投げするのではなく、行政がしっかり準備して進めたい。

IV. (本田) 教育の中核にある教育長が、子どもファースト、子どもの Well Being を第一とする教育を考慮されることに、意を強くしました。法制度の改定を要することもあります。教育現場の工夫で改善できることも多いと思います。前向きに取り組んでおられることに敬意を表したい。

V. (河原) 小学生のころから、自ら参画して学び、自ら意見を言って学びが好きになって、日本の革新を期待したい。岩岡さんから「今まであったことを教えるだけではダメ」と伺ったのは大変心強い。

最後に、岩岡教育長から、「皆さんの海外勤務経験をもとにした、意見の発信をして欲しい」とメッセージをいただいた。

赤堀さんから、以下のコメントがありましたので、最後に、追記させていただきます。

(赤堀) 岩岡教育長には理科実験活動への評価及び関心を頂き、有難く思っております。

特に、

* 先生の理科実験授業に対する準備・器材・内容面での難しさに対するサポート

* 学校授業への貢献テーマとしては、磁石・モーター・電池・熱が面白い

* ドルトンスクール含め海外校への実験依頼に対する実施体制の良さ

* 実験体験と理論をしっかりと教育するやり方への評価

* 最後に、鎌倉のキッズクラブを紹介する

このことは理科実験グループメンバーへ定例会で報告いたします。